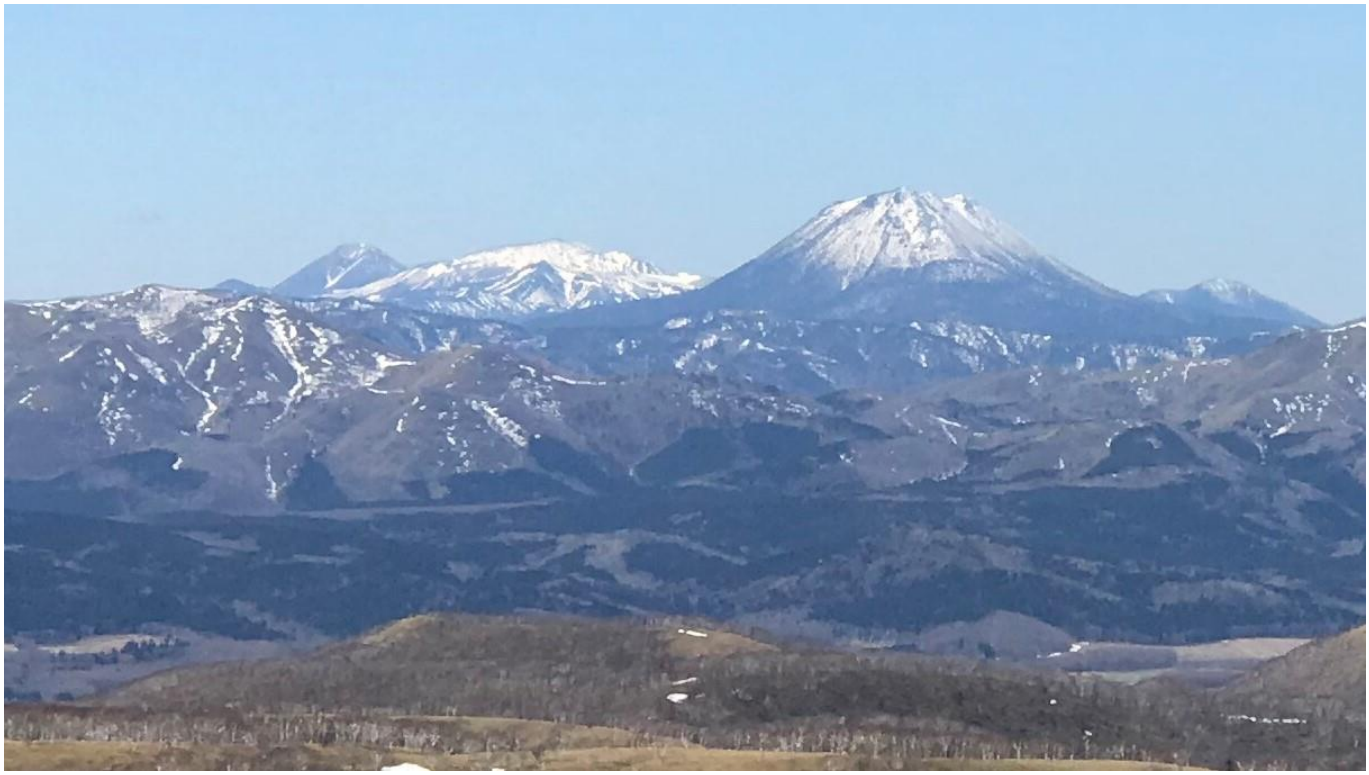
第 58 回
北海道高等学校登山選手権大会

兼第 63 回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会

2019 年 6 月 25 日(火)･26 日(水)･27 日(木)･28 日(金)

雄阿寒岳・雌阿寒岳



主　催　北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道山岳連盟

後　援　釧路市・釧路市教育委員会・足寄町・足寄町教育委員会
　　釧路山岳連盟

主　管　北海道高等学校体育連盟登山専門部・北海道高等学校体育連盟釧根支部

当番校　北海道釧路北陽高等学校

協力校　北海道釧路湖陵高等学校・北海道根室高等学校

歓　迎　の　言　葉

当番校　北海道釧路北陽高等学校
校　長　　上　田　智　史

第58回北海道高等学校登山選手権大会兼第63回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会の開催にあたり、当番校を代表いたしましてご挨拶申し上げます。全道各地区の予選を勝ち抜き、本大会への出場を決めた選手の皆さん、ようこそ釧根支部へおいでくださいました。心より歓迎申し上げます。

今年度の会場は、阿寒摩周国立公園に位置し、日本百名山の一つでもある阿寒岳（雄阿寒岳、雌阿寒岳）を舞台に開催されることになりました。登山者なら一度は登って欲しい山と呼ばれており、360 度の雄大な展望、海まで見渡せる景色、別世界のような光景が広がっています。高校山岳部の登山競技の会場としては、思う存分力を発揮できる山ではないでしょうか。

選手の皆さんは、全国大会につながる本大会に向けて多くのトレーニングや準備をしてきたことと思います。特に 3 年生の皆さんにとっては、高校生活最後の集大成となる大会であり、本大会に懸ける思いは並々ならぬものがあることと思います。ぜひとも、今まで積み重ねてきた努力や成果を遺憾なく発揮して、悔いのない大会にして欲しいと思います。

自然を相手にする登山競技ですから、確かな知識や技術を駆使して、危険を回避しながら目的を果たすことが何より大切となります。過去には冬山において高校生が犠牲となった痛ましい山岳事故が起きています。チームワークのもとに安全第一を心がけ、楽しく思い出に残る大会になることを願っています。

終わりになりますが、本大会の運営を支えてくださっている登山専門部の皆様、各校顧問の先生方、釧路市、足寄町をはじめ関係機関の皆様に心より感謝申し上げ、歓迎のご挨拶といたします。

大　会　役　員

名誉大会長	小野倫夫		
大会長	谷坂常年		
副大会長	森　浩之	林　満章	平野雅嗣
	阿部　穣	川口　淳	
	新山知邦	金谷秀幸	
顧問	蝦名大也	安久津勝彦	佐藤嘉大
	堀　達也		
参与	赤間幸人	山上和弘	大河内秀敏
	山城宏一	坂本和彦	
	岡部義孝	藤代和昭	
大会委員長	上田智史		
大会副委員長	五條政人		
大会委員	土居昌彦	山口　工	鵜野和憲
	矢萩　尚	大友剛靖	柴田英昭
	髙野純平	内海健一	永田　幹
	中村昌彦	斉藤恭士	三戸　渉
	山納秀俊	藤本和夫	竹中正喜
	畑野和宏	水野秀人	相田敬史
	木村宣幸	山下宗紀	小池圭太
	飯田一三		
安全対策委員長	下山シゲ子（北海道山岳連盟副会長）		
安全対策副委員長	竹中正喜	永田　幹	
安全対策委員	今　啓輔	榊　稔	

大 会 実 行 委 員

審査委員長	竹 中 正 喜（旭 川 北）	
審 査 委 員	【男 子】	【女 子】
	斉 藤 恭 士（市立函館）	大 塚 徹（札 幌 南）
	山 納 秀 俊（小樽潮陵）	三 戸 渉（室 蘭 栄）
	木 村 宜 幸（北 広 島）	水 野 秀 人（帯広大谷）
	山 下 宗 紀（旭 川 西）	内 海 健 一（室 蘭 栄）
	佐々木 亮 介（札 幌 北）	細 野 護（旭 川 北）
	青 沼 宏（八 雲）	青 山 泰 教（北見北斗）
隊 長	【男 子】	【女 子】
	小 池 圭 太（旭 川 工）	飯 田 一 三（旭 川 東）
副 隊 長	【男 子】	【女 子】
	相 田 敬 史（釧路湖陵）	藤 本 和 夫（岩見沢東）
	畑 野 和 宏（遠 軽）	西 千 秋（北星女子）
コースパイロット	藤 田 正 一（釧路山岳連盟）	播摩谷 俊 達（釧路山岳連盟）
	友 保 信 一（釧路山岳連盟）	
サ ポ ー ト	【男 子】	【女 子】
	渡 部 栄 治（根 室）	東 陽（釧路北陽）
	牧 井 太 宏（釧路湖陵）	大 橋 暁 光（釧路北陽）
	今 啓 輔（釧路北陽）	白 鳥 雅 文（釧路山岳連盟）
	桐 尾 義 之（高体連 OB）	鶴 間 秀 典（釧路山岳連盟）
		岩 野 道 夫（釧路山岳連盟）
通 信	永 田 幹（釧路北陽）	今 啓 輔（釧路北陽）
	榊 稔（釧路北陽）	
ペーパーテスト	竹 中 正 喜（旭 川 北）	
天 気 図 審 査	木 村 宜 幸(北 広 島)	内 海 健 一（室 蘭 栄）
	佐々木 亮 介（札 幌 北）	
現 地 本 部	永 田 幹（釧路北陽）	榊 稔（釧路北陽）
	田 宮 司（釧路北陽）	足 立 瞳（釧路北陽）

大　会　事　務　局

総　　務	永田	幹	今	啓輔	榊	稔			
競　　技	永田	幹	今	啓輔	田宮	司	足立	瞳	
輸送宿泊	今	啓輔	田宮	司	ＪＴＢ				
救　　護	東	陽	大橋	暁光	田宮	司			
記　　録	榊	稔	足立	瞳					
会　　計	久保	雅弘	永田	幹	今	啓輔			

開会式

１．開式宣言
２．優勝杯返還
３．レプリカ贈呈
４．大会長挨拶
５．大会委員長挨拶
６．審査委員長挨拶
７．選手宣誓
８．閉式宣言
＊当番校より連絡

閉会式

１．開式宣言
２．成績発表
３．優勝杯･賞状授与
４．審査委員長講評
５．大会委員長挨拶
６．閉式宣言
＊当番校より連絡

大会の審査要領

１．ペーパーテスト（登山についての基礎知識）　１０点（４人の平均点）
２．行動中テスト（行動中、読図・自然等の、口頭による質問）　５点（４人の合計点）
３．審査の配点

①体力	３０点	②歩行	２０点
③装備	１０点	④設営・撤収	５点
⑤炊事	５点	⑥気象	５点
⑦計画・記録	５点	⑧マナー	５点

日　程　表

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
２５日（火）									受付開始（ニュー阿寒ホテル）	専門委員会・安全対策委員会	開会式・ペーパーテスト・監督会議		天気図審査		夕食		就寝	
２６日（水）	起床　朝食・昼食受け取り		登山開始 登山口着・出発 バス乗車・メインザック預け				雄阿寒岳山頂			登山口着 バス移動	ホテル着 メインザック受け取り・キャンプ場へ移動	幕営審査	天気図・ペーパーテスト返却 調理審査				就寝	
２７日（木）	起床		キャンプ場出発				雌阿寒岳山頂		阿寒富士山頂		オンネトー国設野営場着 バス移動	阿寒湖畔キャンプ場着	入浴		夕食・交流会		交流会終了	就寝
２８日（金）			起床 行動テスト、計画書、記録書等返却		審査委員会	テント撤収	閉会式・表彰式（阿寒湖まりむ館）											

コースガイド

大会２日目：雄阿寒岳

登山口は阿寒湖の東端、「滝口」のバス停の目の前にある。コースは阿寒湖沿いに少し行き、水門を渡るとまもなく太郎湖、次郎湖が見えてくるのだが、次郎湖は木立に遮られて全貌は見えない。トドマツ主体の針葉樹林帯の中を一合目、二合目と高度を稼いでいく。平坦な林間コース、ちょっとした岩場、急な斜面を何度か登ってようやく五合目に辿り着く。阿寒湖を眼下に雌阿寒、阿寒富士を一望でき、今までの苦労が報われる時だ。高度感と疲労感の割には愕然としそうだがご安心を。実際の高度でいえば八合目くらいに相当する。六合目から頂上までの標識は次々と現れてくる。わかっていれば気持ちは楽になる。この後は周囲の展望が開けてくる。八合目は開けた場所になっていて、旧陸軍の気象観測所跡がある。頂上からの展望は独立峰だけに素晴らしい。ペンケトー、パンケトーが周囲の原生林に囲まれ、加えて空気が澄んでいれば、遠くの大雪山まで見渡すことができる。

大会３日目：雌阿寒岳

阿寒湖を挟んで雄阿寒岳と対峙し、今なお噴煙を噴き上げる活火山である。時折火山活動が活発になり、登山禁止の措置がとられることもある。実際に昨年の 11 月には噴火レベルが上がったが、その後、規制が解除され、現在のところ登山は可能なようである。

キャンプ場～探勝路入口～白湯山

キャンプ場から 15 分ほど歩きスキー場下に着く。そこから探勝路入口までは 30 分くらいかかる。周囲には樹木がないので展望は利いてくる。阿寒湖と雄阿寒岳の姿も確認できる。スキー場だけに斜度はきつい。45 分歩いてようやく探勝路入口に辿り着く。ここまででかなりの疲労を感じるが、本当の登山はここからだ。コースは一転して樹林中を緩やかな起伏を越えながら進み、ボッケの白い湯気に気づく。ボッケでは泉源温度が 100℃と言われる温泉が湧いているそうだ。このボッケは危険なため立ち入り禁止で外から眺めるだけである。やがて前方に白湯山展望台が見えてくる。ここからの展望もまた素晴らしい。その後は林道になり、しばらく進むと雌阿寒岳登山口の標識が見える。

登山口～剣ヶ峰～雌阿寒岳

1km ほどで本格的な登山道となる。前半は間伐された後の針葉樹林の中を歩き、針葉樹林帯から一段高みに登るとハイマツのトンネルを通過して剣ヶ峰の山腹へと向かう。ハイマツが視界から消えると砂礫の斜面となって、展望が広がる。殺風景な稜線上を行き、火山礫で足下の不安定な斜面を真っ直ぐ登って高度を稼いで行くと、オンネトーからのコースと合流したことを示す標識がある。山頂は目と鼻の先である。樹林限界を越えると北海道の山でもこんな光景が見られるのかというような展望なのだが、足場は悪く、風も避けようがないので歩くときには十分に注意されたい。

雌阿寒岳～阿寒富士～オンネトー

オンネトー・コースを七合目まで下っていったところに、雌阿寒岳方面との分岐を示す標識がある。踏み跡をたどってコルに着くと眼前に阿寒富士の斜面が立ちはだかる。山名の由来は姿を見れば納得のいくところである。登り始めからかなりの傾斜があり、おまけに足下も悪く、苦戦が続くが、展望が徐々に開けてくるのが楽しみだ。下りはスピードが出ないように十分に注意してほしい。七合目の標識からオンネトー方面に下る。しばらくは展望が楽しめるが、四合目付近からハイマツの大木が現れてくると展望が利かなくなる。針葉樹林の中を進み、丸太組みの階段道を行き、急勾配を下れば、オンネトー国設野営場が見えてくる。ゴールはもう目の前だ。

参考　『夏山ガイド⑥　道東・道北・増毛の山々』北海道新聞社

大会参加校数一覧

支部名	全道大会						支部大会					
	参加校数			参加者数			参加校数			参加者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
札幌	3	4	5	12	16	28	7	4	8	49	22	71
室蘭	1	2	2	4	8	12	2	2	2	29	11	40
小樽	1		1	4		4	2	1	2	15	1	16
南空知	1		1	4		4						
旭川	2	2	2	8	8	16	4	2	4	41	17	58
北見	1	2	2	4	8	12	2	2	2	25	13	38
十勝	2	1	2	8	4	12	4	3	4	51	12	63
釧根	1	1	1	4	4	8	2	1	2	20	9	29
函館	1	1	1	4	4	8	3	1	4	18	11	29
計	13	13	17	52	52	104	26	16	28	248	96	344

先輩の踏み跡

全国大会優秀校

回	期　日	会　場	当番高校	優勝校（男）	優勝校（女）
1	1962.7.10～7.12	大雪山系	旭川東	芦　別	旭川東
2	1963.6.29～7. 1	大雪山系	上　川	札幌南　苫小牧東	芦　別
3	1964.7. 2～7. 4	ニセコ連峰	倶知安	旭川東　小樽千秋	旭川東
4	1965.7. 2～7. 4	富良野岳・十勝岳	富良野	増　毛　遠　軽	旭川東
5	1966.6.24～6.26	十勝岳・美瑛岳　美瑛富士	美　瑛	旭川東　増　毛	旭川東
6	1967.6.22～6.24	樽前山・風不死岳　恵庭岳	苫小牧東	旭川東　北見柏陽	旭川東
7	1968.7. 4～7. 5	ウペペサンケ	帯広三条	旭川東　芦　別	旭川東
8	1969.7. 3～7. 5	芦別岳・富良野西岳	芦　別	芦　別　帯広柏葉	芦　別
9	1970.7. 2～7. 4	横津岳・駒ヶ岳	遺愛女子　函館西	標　茶　帯広農業	遺愛女子
10	1971.7. 1～7. 3	大雪山系	旭川商業	芦別工業　旭川東	芽　室
11	1972.6.29～7. 1	知床山系	北見柏陽	旭川東　北見北斗	標茶農業
12	1973.6.28～6.30	十勝連峰	旭川東	深川西　函館有斗	旭川東
13	1974.7. 4～7. 6	天狗岳・余市岳	北海道工業	函館有斗　増　毛	芽　室
14	1975.6.26～6.28	羅臼岳・羅臼湖	標茶農業	標茶農業　増　毛	標茶農業
15	1976.6.23～6.25	夕張岳（日陰の沢）	美唄工業	美唄工業　小樽工業	標茶農業
16	1977.6.22～6.24	天塩岳	士　別	旭川東　北見北斗	標茶農業
17	1978.6.28～6.30	大千軒岳	函館有斗 函館白百合 函館ラ・サール	標茶農業　小樽工業	函館白百合
18	1979.6.28～6.30	室蘭岳・カムイヌプリ	室蘭工業	八　雲　旭川東	函館白百合
19	1980.6.26～6.28	ニセコ連峰	小樽工業	北見北斗	北見北斗
20	1981.6.25～6.27	空沼岳・札幌岳	札幌慈恵	富良野工業　北見北斗	函館白百合
21	1982.6.23～6.25	夕張岳	夕張工業	檜山北	旭川商業
22	1983.6.23～6.25	暑寒別岳・雨竜沼	砂川南	富良野工業　八　雲	北見北斗
23	1984.6.21～6.23	富良野岳・芦別岳	富良野工業	帯広柏葉	北見北斗
24	1985.6.20～6.22	斜里岳・羅臼岳	網走南ヶ丘	東　川　網走南ヶ丘	網走南ヶ丘
25	1986.6.26～6.28	雄阿寒岳・雌阿寒岳　阿寒富士	標　茶	北見北斗	標　茶
26	1987.6.17～6.20	羊蹄山・アンヌプリ　チセヌプリ・目国内岳	札幌新陽	小樽工業　北見北斗	旭川東栄
27	1988.6.23～6.25	ウペペサンケ山・ニペソツ山	帯広柏葉	小樽工業	旭川東栄
28	1989.6.22～6.24	駒ヶ岳・狩場山	函館中部 檜山北 遺愛女子	富良野工業　小樽工業	旭川東栄
29	1990.6.21～6.23	幌尻岳・トッタベツ岳	苫小牧東　静　内	小樽工業	旭川東栄
30	1991.6.20～6.22	羊蹄山・目国内岳・雷電山	倶知安	小樽工業　札幌稲西	江　別
31	1992.6.18～6.20	富良野岳・芦別岳	富良野	小樽工業	江　別
32	1993.6.23～6.25	夕張岳	夕張緑ヶ丘実業	旭川東　富良野工業	旭川東
33	1994.6.23～6.25	硫黄山・羅臼岳	北見北斗	旭川東	旭川東
34	1995.6.21～6.23	余市岳・無意根山	札幌稲西	旭川東　富良野工業	札幌南
35	1996.6.27～6.29	沼ノ原・トムラウシ山	帯広農業	札幌南	江　別
36	1997.6.19～6.21	恵山・海向山　白水岳～遊楽部岳	函館東　檜山北　函館ラ・サール	札幌南　札幌工業	北見北斗
37	1998.6.24～6.26	アポイ岳・イドンナップ岳	静　内	旭川東	北見北斗
38	1999.6.17～6.19	十勝連峰	富良野緑峰	札幌南　旭川東	北見北斗
39	2000.6.21～6.23	斜里岳・雄阿寒岳	釧路湖陵	札幌南	北見北斗
40	2001.6.20～6.22	羊蹄山・ニセコ山系	小樽潮陵	札幌南　札幌工業	旭川東
41	2002.6.26～6.28	美唄山・樺戸山地	美唄工業	札幌工業	北見北斗
42	2003.6.25～6.27	知床硫黄山・羅臼岳	北見北斗	北見北斗　札幌南	札幌南
43	2004.6.23～6.25	十勝幌尻岳・伏美岳　ピパイロ岳	帯広農業	江　別	北見北斗
44	2005.6.22～6.24	無意根山・羊蹄山	札幌南	札幌南　江　別	八　雲
45	2006.6.21～6.23	白水岳・狩場山	函館ラ・サール	札幌南	八　雲
46	2007.6.20～6.22	ペンケヌーシ岳　チロロ岳	静　内	札幌南　北見北斗	北見北斗
47	2008.6.25～6.27	美瑛岳・旭岳	旭川東	旭川東	北見北斗
48	2009.6.24～6.26	斜里岳・雄阿寒岳	釧路湖陵	旭川東　札幌北	旭川東
49	2010.6.23～6.25	神威岳・烏帽子岳　札幌岳・空沼岳	札幌稲西	札幌北	旭川東
50	2011.6.21～6.24	岩内岳～目国内岳　羊蹄山	小樽桜陽	札幌北	旭川東
51	2012.6.26～6.29	ピンネシリ　南暑寒岳～暑寒別岳	岩見沢東	札幌北	北星学園女子
52	2013.6.25～6.28	斜里岳　羅臼岳	遠軽（協力校：北見北斗）	北見北斗	旭川東
53	2014.6.24～6.27	ウペペサンケ山・ニペソツ山	帯広柏葉	帯広柏葉	帯広柏葉
54	2015.6.23～6.26	風不死岳　樽前山　羊蹄山	札幌西	旭川東	旭川東
55	2016.6.21～6.24	長万部岳　狩場山	遺愛女子	旭川東	旭川東
56	2017.6.20～6.23	カムイヌプリ～室蘭岳　来馬岳～オロフレ山	室蘭栄	釧路湖陵	旭川東
57	2018.6.26～6.29	上ホロカメットク山～十勝岳　オプタテシケ山	旭川北	旭川東	釧路湖陵
58	2019.6.25～6.28	雄阿寒岳　雌阿寒岳	釧路北陽		

全道高校体育大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

北海道高等学校体育連盟
令和元年度全道高校体育大会当番校

北海道高等学校体育連盟及び令和元年度全道高校体育大会当番校は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下の通り対応します。

１　参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

（１）大会プログラムに掲載されます。
（２）競技場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
（３）競技場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

２　競技結果（記録）等の取り扱い

（１）当番校が認めた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
（２）大会プログラム掲載の個人情報とともに、当番校が作成する大会報告書（以下報告書という）に掲載されます。
（３）新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

３　肖像権に関する取り扱い

（１）当番校が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
（２）当番校が認めた報道機関が撮影した映像が中継または録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD 等に編集され、配付されることがあります。
（３）この他、北海道高等学校体育連盟の許可に基づき、記念写真等が販売されることがあります。

４　当番校としての対応について

（１）取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
（２）参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
（３）大会役員、競技役員、運営委員、その他各種委員や補助員、当番校と大会に関する契約をしている者､大会運営関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
（４）記念写真等の販売について業者から直接当番校へ問い合わせがあった場合は、一括道高体連事務局で対応しますので業者へご連絡ください。
（５）個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、北海道高等学校体育連盟事務局までご連絡ください。

連絡先･問い合わせ先
北海道高等学校体育連盟事務局
０１１－８２６－３３００

祝

第 58 回　北海道高等学校登山選手権大会
兼
第 63 回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会

2019 年 6 月 25 日～28 日

雄阿寒岳・雌阿寒岳

北海道の山の宿　秀岳荘

http://www.shugakuso.com